

ふるさと鹿追の魅力再発見!

ジオパーク推進協議会がツアーと講座を開催

10月13日、町内初となる町民向け「日帰りジオツアー」を開催しました。これは、町民の皆さまに「鹿追」という地域の成り立ちを知ってもらい、鹿追の魅力を再発見してもらおうことを目的とするものです。

この日は、親子連れや学校教諭、町郷土史研究会員など21人が参加。澤田結基氏（広島県福山市立大学講師）が、ツアーガイドとなり然別湖周辺の成り立ちなどを学びました。

澤田氏は、「東又ブカウシヌプリの登山道を境に左右で生態系が異なり、これは地形の違いが影響している。ガレ場（岩塊斜面）の下には、季節によって凍結と融解を繰り返す氷とその下には季節に左右されず凍結している土や氷『永久凍土』が存在している」など、現地でわかりやすく解説をしました。



参加者から
「その場で
問合せ先
教育委員会 社会教育課 社会教育係
☎(66) 3300

質問できるツアーは良かった」「ガイドツアーを今後も続けて」などの意見が出されました。
また、同日午後6時からしかおいジオパーク講座「ふるさと鹿追 どんな町? 地質が教えてくれること」を町民ホールで開催しました。



やまびこメールから

やまびこメール担当
企画財政課 広報広聴係
(☎66-4032 内線185)

然別湖の

ジオパーク認定へ

然別湖周辺には貴重な自然がいっぱいですね。以前、土幌高原道路構想があり、土幌高原と然別湖取水口近くをトンネルで結ぶ案がありましたね。然別湖側の出入り口付近を少し登ったところの樹の根の洞に「ヒカリゴケ」がありました。淡く黄緑色に光っていました。荒らされなく、ひっそりと今でも淡く光っていてくれると良いのですが。このヒカリゴケもジオパーク認定を待っていると思います。(匿名)

■ 答えします ■

しかおいジオパークへのご意見をいただきありがとうございます。

ご意見いただいたとおり、然別湖周辺は火山の噴火活動などによってできた特異な地形であり、貴重な動

植物が生息する地域であります。

一方、同地域は鹿追町の観光地として、全国から多くの観光客が訪れ、カヌーや釣り、近隣の山々での登山などアウトドア地域にもなっています。また、町内全ての学校では、小中高一貫教育「新地球学」を実施し、子どもたちへ地域の自然、歴史、文化などを学ぶ独自の授業を行っています。

現在、鹿追町ではジオパーク構想を実現させるべく協議会を立ち上げ、地域住民と町内外のさまざまな機関が連携・協力し、特異な地形、貴重な動植物の「保全」と観光地やアウトドア地域、さらには教育資源としての「活用」のためのルールづくりを進めています。単なる自然保護や資源活用ではなく、両者を共存させることで地域の持続的な発展を図ることが大事であると考えます。

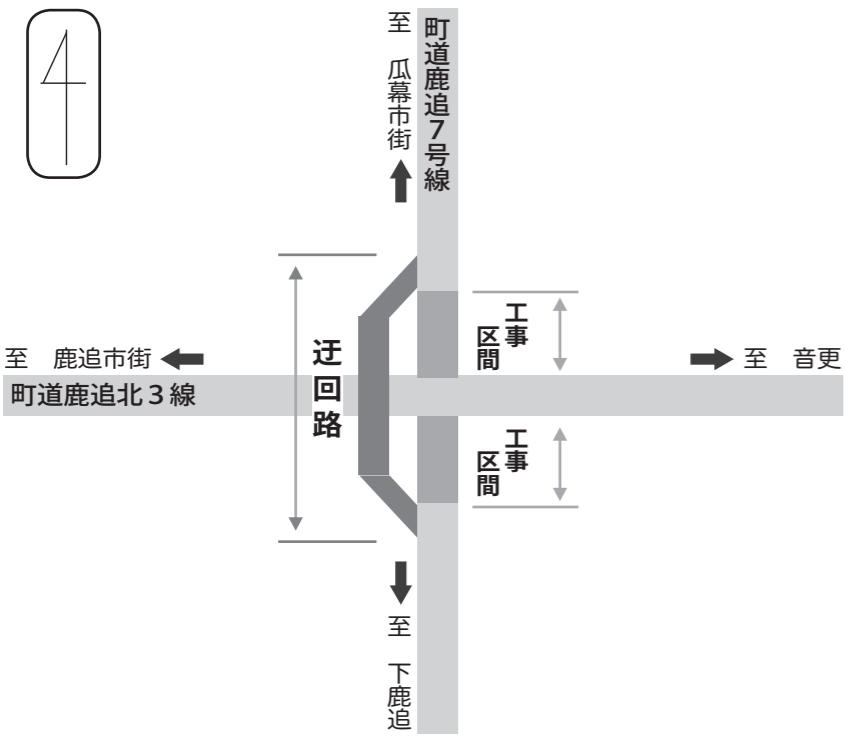
町では、平成25年度の日本ジオパーク認定を目標に各種事業を積極的に推進し、地域住民や観光客などが「郷土を愛する心」「自然を愛する心」を育むことができるよう今後も取り組みを進めてまいります。

今後もしかおいジオパークに対してご意見等をいただければ幸いです。(教育委員会 社会教育課 社会教育係)

道路工事に伴う迂回路の案内について

国営農地再編整備事業 中鹿追地区の町道鹿追7号線道路横断工事が平成24年10月ごろから同年12月上旬ごろまで実施されます。この工事に伴い、町道鹿追北3線との交差点個所に迂回路を左図のように設置し、道路を切り替えますのでお知らせします。

工事期間中は、ご不便をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



問合せ先 建設水道課 土木係 ☎(66) 4033

担当課・係から ひびく お知らせ 掲示板

人権擁護委員に大前眞優子さんが委嘱されました

平成24年6月20日開催の平成24年第2回町議会(定例会)において、法務大臣委嘱の人権擁護委員に大前眞優子さんを新任として、吉田弘志町長から推薦についての諮問がありました。

同日、町議会から適任との意見をいただき、町では法務大臣に対する推薦手続きを進めていたところですが、平成24年10月1日付けをもって法務大臣より人権擁護委員として委嘱されました。委嘱の期間は3年間で、任期は平成27年9月30日までとなります。

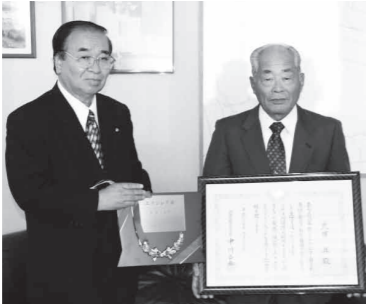
人権擁護委員の職務は、離婚相談などの家庭内の問題

や借地借家の問題、隣近所のもめごとなど、相談は無料でも地域住民からの相談に応じ相談内容の秘密は守られます。

武藤さん「エイジレス・ライフ」実践者として表彰

福祉課福祉町民相談係

「エイジレス・ライフ」実践者に係る書状伝達式が、10月5日、役場町長室で行われ、武藤昇さん(東瓜幕)に書状と盾が伝達されました。



エイジレス・ライフは、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送っている高齢者が対象。内閣府が推奨しているものです。

武藤さんは、老人クラブを



10月5日、今年度100歳を迎えた梶谷スエミさん(明治45年7月1日生)と五十川なみさん(大正2年3月7日生)へ内閣総理大臣の祝い状および銀杯が贈られました。吉田弘志町長が特別養護老人ホーム「しゃくなげ荘」を訪問し伝達。吉田町長は「これからももっと長生きしてください」と梶谷さんと五十川さんを祝福しました。